

《担当者名》巻 康弘 [maki@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高齢者福祉学特論、フィールドワークなどの学習をもとに、演習形式での講読や討議を通して高齢者福祉に関する諸課題及び自ら設定する課題について深化させ課題研究に発展させる。

【学修目標】

現代社会における高齢者福祉の諸課題が生じている要因などを的確に指摘することができる。
自らの学習課題を明確にすることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	授業のガイダンス	この演習の進め方を説明する	巻
2 5 7	課題についての高齢者福祉に関する 研究論文の講読 課題についての研究の到達点の検討	課題に関する先行研究の検索、講読、整理、要約を行う	巻
8 9 10	研究方法の検討	研究方法に関する知識の確認、課題研究に則した研究方法の検討を行う 先行研究から、高齢者福祉の調査の手法を検討する	巻
11 12 15	研究計画書作成の演習	研究計画書の作成などの演習を通して課題作成のための研究的視点を養う	巻

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%) 準備参加状況(30%) 課題レポート(40%)により総合的に評価する

【教科書】

適宜紹介する

【参考書】

適宜紹介する

【学修の準備】

課題に関連する文献を収集すること。その内容について、報告を求める。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。